

「まちを知る 七北田を歩く―地域いきいきプロジェクト―」

泉区中央市民センター（地区館）×泉区中央市民センター（区拠点館）

1 事業概要

泉区中央市民センターの管内には、奥州街道の宿場町として1623年に始まった七北田宿があり、2023年で開宿400年となりました。その節目の年を迎えるにあたり、令和2～4年度まで複数年で「いずみ探訪―地域案内人養成講座」を開催し、七北田地域の歴史資源を学びました。その講座の受講生から発足した自主活動グループ「七北田探訪会」が案内人となって、令和5年度より本事業「まちを知る 七北田を歩く」を開催し、奥州街道の宿場町だった歴史、史跡など古きを知ること未来の自分たちのまちを考える機会となるようなまち歩きの講座を実施してきました。2年目となる今年度は、対象やコースを改善して、地域資源の価値を地域に広く伝えることを重視して実施しました。



2 令和6年度の活動

7月には、高校生を対象にまち歩きを実施しました。「七北田探訪会」の案内人が、自ら作成したガイドマップを基に七北田地域の史跡を案内しながら、1人1か所ずつ史跡についての講話を行いました。クイズ形式にしたり、具体的な例え話を入れたり、高校生にも分かりやすいように説明を工夫したことで、参加者は楽しく学ぶことができ、ガイドボランティアとしての実践力も磨くことができました。

9月には、新たに企画した山の寺洞雲寺コースのまち歩きを実施しました。5月に事前の下見をした際に、歩く距離が長く、思った以上に時間がかかったため、参加者の健康面と講座開催の時間を考慮し、大人事業の予算より片道をマイクロバス移動に計画し直しました。その結果、じっくり時間をかけて史跡の見学や解説をすることができ、内容の充実した講座となりました。参加者たちは、1300年前まで遡る洞雲寺の歴史の話に興味深く耳を傾け、熱心に資料を読む姿が見られました。



10月の市民センターまつりでは、館内の「泉・ふるさと生活ギャラリー」の展示物の紹介や自作の歴史紹介画像の解説など、来館者に対して案内人が熱心に語り掛けていました。

3 成果と課題

2回のまち歩き講座を実施するにあたり、毎月開催している「七北田探訪会」の定例会において、実際にまち歩きをしてのルートの検討やガイドの準備、講座後の振り返り等を行い、令和5年度よりもさらに分かりやすく、かつ参加者に興味を持って身近に感じてもらえる説明になるよう、実践と改善に取り組みしました。その結果、参加者からは「地域の歴史を調べてみたいと思った」等の感想があり、地域への関心と愛着をより深めてもらうことができました。また、対象者に合わせて説明の内容や問いかけ方を工夫し、案内人同士で切磋琢磨しスキルアップすることもできました。

課題としては、若者対象の講座の参加者が少なかったこと、参加者から「もっと時間をかけて見たかった」との意見があったことがあげられました。対象者に合わせて広報の仕方を工夫し、スケジュールの組立を改善して、より多くの方が参加し満足してもらえるまち歩き講座を目指したいと考えています。

4 今後の展望

今後も「七北田探訪会」と連携して、さらに地域への関心が高まるきっかけとなるまち歩き講座を企画・実施していきたいと考えます。また、「七北田探訪会」の実践経験の場を設け、ガイドスキル向上及びガイドボランティアの増員に関する取組を支援し、これまでの学びを地域に還元し続けられる体制づくりを目指します。

